

第4回豊中市学校教科用図書選定委員会 会議録

1. 日 時 令和5年(2023年)7月6日(木) 14時15分～16時30分

2. 場 所 豊中市教育センター

3. 出席者 委員14名

4. 内 容

(1) 委員長あいさつ

(2) 調査報告会資料について

(3) 調査報告会について

①選定委員からの質問に先立ち、委員長より調査活動に対する謝意及び調査報告会での留意事項について説明することを確認する。

②調査員からの報告概要及び主な質疑

【保健】

・学びの工夫、補足的な学習・発展的な学習の観点等について報告があった。

・人権の取扱いの観点から、東書を評価する調査員が多かった。

〔主な質疑〕

○委 員：学習をうまく進めていく中で、写真やイラストが工夫されている発行者はどこか。

○調査員：大日本は文字の大きさが見やすい。

○調査員：学研は新しい写真が多い。

○調査員：東書は肌の色や車いすなど、さまざまなイラストが描かれている。

○委 員：多様性がある中で、詳細な点まで気遣いがされている教科書はあるか。

○調査員：東書。表紙にさまざまな職業の人や車いすの人、いろいろな人種の子どもが描かれている。学校現場にもいろいろな児童がいる。そういった子が安心できる。

○調査員：光文はスーツを着た女性やかわいいキーホルダーをしている男性が載っている。

○委 員：学び方の工夫の観点で、家庭への理解という点で工夫がある教科書はどれか。

○調査員：東書は「保護者のみなさまへ」というメッセージや保健の教科書の位置づけの記載があり、保護者の方にも理解していただけたと思う。

○委 員：先生が使いやすい、指導しやすい発行者はどれか。

○調査員：東書・記述欄が多く、ワークシートが必要ない。また、まとめのページが別ページにあるため、その時間の学びの蓄積を振り返ることができる。

○調査員：東書、大修館、学研には話し合ったことを記述できるスペースがある。

【英語】

- ・人権の取扱い、組織・配列の観点等について報告があった。
- ・全体のバランスや目標・内容の取扱いの観点から、東書、教出を評価する調査員が多かった。

- 委員：見やすいもの、興味もてるものはどの発行者か。
- 調査員：文字指導や、文章を書く時のルールが詳しく書かれているのは東書。
- 調査員：啓林館は「付録シート」に会話を楽しむフレーズ集がある。
- 調査員：東書は世界遺産や英語の歴史など、外国の文化にも触れられる。
- 委員：中学校への接続を意識できる発行者はどこか。
- 調査員：「書く」「読む」をおさえているという観点では三省堂と東書。
- 調査員：中学校の最初の単元に「自己紹介しよう」がある。東書の最後にも同様の単元があり、小学校の学びから中学校の学習に入っていける。
- 調査員：東書の別冊には動詞がたくさん載っている。中学校では動詞を多く使用するため、連携の観点でも評価できる。
- 委員：デジタル教科書を使用しやすい発行者はどこか。
- 調査員：教出は歌の数が多い。
- 調査員：啓林館のデジタル教科書は単語ではなく、文を言うチャンツがある。
- 委員：自分の思いを伝えることを重視している発行者はどこか。
- 調査員：自分の知っている単語をつないで、伝える・伝え合うといった活動が多いのは開隆堂と三省堂。
- 調査員：どの発行者もスモールトークはあるが、特に多いと感じたのは東書。

【道徳】

- ・組織・配列、学び方の工夫の観点等について報告があった。
- ・人権への配慮、分量、学び方の工夫から、光文、日文、東書を評価する調査員が多かった。

- 委員：主体的・多角的に迫れるという点では、どの発行者がよかったか。
- 調査員：写真や挿絵で飽きさせない工夫がされているのは、東書と光村。
- 調査員：光村は絵本作家のページは目を引く。光文は最後の「言葉の贈り物」は目を引く。
- 調査員：光文。発達段階に応じてツールを使い、自分で考えることができる。
- 委員：自分のことを大切に思う・自信を持たせる・自分を見つめるという点を重視している発行者はどこか。
- 調査員：日文は自分の生活を振り返るページがあり、自己肯定感や多面的に物事を考えることができる。
- 調査員：光文は「へこんでも立ち上がる」を学年に応じて扱っている。
- 委員：展開しやすい発行者はどこか。

○調査員：光文は発問の掲載が多く、ヒントにしながら授業展開を練ることができる。

○調査員：光文はバランスがとれており使いやすい。

(4) 今後の予定について

7月18日(火) 第5回選定委員会(答申策定)

7月26日(水) 第6回選定委員会(答申策定)

7月31日(月) 答申予定

8月上旬 臨時教育委員会会議 教科用図書採択